

能  
翁

“OKINA”

能  
高砂

“TAKASAGO”

今村嘉太郎

白坂 信行

相原 一彦



MYUONMUGA

妙なる音を目指し我心なき稽古を

2024.11.9 SAT

開場 ▶ 12:30 開演 ▶ 13:30

大濠公園能楽堂

福岡県福岡市中央区大濠公園1番5号

## いあいさつ

お陰さまで五回目の公演を迎える事が出来ました。「妙音無我」は、『翁』附『高砂』を上演させていただきます。

『翁』は能の根本とされ、古来より大切に扱われて参りました。『翁』より始まり、神様がシテとして描かれている「初番目物」が引き続き演じられます。つまり役者は『翁』の後、舞台から退く事なく二曲続けて演じるのです。時間にして約二時間四十分…

この古式に乗っ取った演じ方を「翁附」と呼び、現在は演じられる事は稀になって参りました。

この機会に是非足をお運びいただき、非日常の中にある「緊張感」と「清々しさ」、日本人の根底に脈々と流れる「力強さ」と「平和への願い」を感じていただければ幸いです。

「翁附」とは

はじめに式三番(翁)を演ずる番組構成のこと。能が式楽となった江戸時代には、翁付五番立の上演形式が正式でした。また、式三番に引き続いて上演される協能を「翁付協能」といいワキの登場前に「音取置鼓」という特別な譜が奏されるなど、演出に変化がみられます。



第三回 妙音無我「班女」2023年11月3日

## 解説無料

### スマホ de 解説

必ずイヤホンをご持参ください

当日は、スマホとイヤホンがあれば、「翁」と「高砂」の解説を無料で聞くことができます。会場にあるQRコードを読み取り、ご利用ください。使用方法などは、会場入口でご確認ください。

スマートフォンの機種や設定によっては「スマホde解説」をご利用頂けない場合がございます。ご了承下さい。

※ 音声の再生は、必ずイヤホンをご使用ください。

提供／一般財団法人 衆我財団

## 「翁」解説

「翁」は、「能にして能にあらざ」といわれ、まさに別格の一曲です。どのカテゴリーにも属さず、物語めいたものはありません。神聖な儀式であり、演者は神となつて天下泰平、国土安穩を祈禱する舞を舞います。シテは舞台上で深々と礼をした後に着座します。三調の小鼓と笛の囃子が始まってからシテは謡を始め、地謡との掛け合いに入ります。その後、千歳が舞います。千歳は露払い(先導し、道を歩きやすく拓く者)の役を担います。この舞の間に、シテは翁面をつけて翁の神に変身します。翁が進み出て舞い、舞が終わると翁は面を外し、再び舞台上で深く礼をし、その後、翁と千歳は橋掛りより退出します。これを翁帰り(おきながえり)と呼びます。直面(ひためん)の三番叟が登場し、「採(もみ)ノ段」を舞った後、黒式尉(こくしきじょう)の面をつけ、面箱と問答を行った後、鈴を渡され、今度は「鈴ノ段」の舞を舞います。能の舞台はいつも、静かな緊張感のみならず、静かな緊張感のみならず、神聖な儀式的な独特な雰囲気があります。「翁」の上演中は、見所に入ることも出ることも禁じられます。観客も神事の参加者、目撃者として、言葉にできない領域に入ります。余計に語ることはありません。ぜひ一度、翁を現実の舞台で体験していただきたいと思えます。

# 翁

今村嘉太郎

三番叟

吉住

講

面箱 野村拳之介

千歳 今村 哲朗

狂言後見

能村 晶人  
野村 万禄

姥 今村 哲朗

住吉明神 今村嘉太郎

## 高砂

阿蘇宮神主友成

御厨 誠吾

大鼓

白坂 信行

太鼓 田中 達

小鼓

清水 和音

従者 則久 英志

小鼓

大倉源次郎

笛 相原 一彦

従者 小林 努

小鼓

上田 敦史

高砂ノ浦人 野村 万禄

後見 武富 康之

後見

今村 嘉伸

地謡

小倉要二郎

森本 哲郎

林本 大

坂口 信男

山口剛一郎

大西 礼久

今村 一夫

多久島利之

『翁』上演中は見所への出入りはご遠慮いただいております。開演前にご着席賜ります様、お願い申し上げます

終演 16時 10分頃

※許可なき撮影、録音はご遠慮ください

### 「高砂」解説

九州阿蘇神社の神主友成(ともなり)は、都見物の途中、従者を連れて播磨国(兵庫県)の名所高砂の浦に立ち寄りませす。友成が里人を待つているところに、清らかな佇まいをした、一組の老夫婦があらわれました。松の木陰を掃き清める老夫婦に友成は、高砂の松について問いかけます。二人は友成に、この松こそ高砂の松であり、遠い住吉の地にある住の江の松と合わせて「相生(あいおい)の松」と呼ばれている謂われを教えます。老翁はさらに、和歌が栄えるのは、草木をはじめ万物に歌心がこもるからだと言いき、樹齢千年を保つ常緑の松は特にめでたいものであるとして、松の由緒を語ります。やがて老夫婦は、友成に、自分たちは高砂と住吉の「相生の松」の化身であると告げると、住吉での再会を約して夕波に寄せる岸辺で小船に乗り、そのまま風にまかせて、沖へと姿を消して行きました。残された友成の一行は、老夫婦の後を追って、月の出とともに小舟を出し、高砂の浦から一路、住吉へ向かいます。住吉の岸に着くと、男体の住吉明神が姿を現しました。月下の住吉明神は、神々しく颯爽と舞い、悪魔を払いのけ、君民の長寿を寿ぎ、平安な世を祝福するのです。

# チケット情報 「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」にご入会の方は割引になります。

- SS席
- S席／車椅子席(2席)
- A席
- B席
- 自由席・学生席



チケット 価格	SS席		
	一般価格	13,000円	会員価格 10,400円
	S席		
	一般価格	12,000円	会員価格 9,600円
	A席		
	一般価格	10,000円	会員価格 8,000円
	B席		
	一般価格	8,000円	会員価格 6,400円
	自由席		
	一般価格	6,000円	会員価格 4,800円
	学生席		
	一般価格	3,000円	会員価格 2,400円

※当日券は、各席の価格にプラス1,000円となります。【カード等各種決済あり】

**会員価格について** 「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会」会員の方は会員価格にて販売致しますので、購入の際は公式LINE、または、直接、下記「今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局」までお問い合わせ下さい。

チケットは下記にてご購入いただけます

- 今村嘉太郎君と能楽を楽しむ会事務局**
一般価格チケット販売  
 TEL.070-5416-2621 FAX.092-841-4800 会員価格チケット販売  
 yoshitarou0423@gmail.com

---

- 観世流能楽師 今村嘉太郎公式サイト**
一般価格チケット販売  
<https://www.yoshitaro.jp/>
→

---

- 大濠公園能楽堂**
一般価格チケット販売  
 TEL.092-715-2155

---

- 電子チケット販売**
一般価格チケット販売  
 お好きな座席が選べてその場で決済、スマホで入場も楽な電子チケット。  
 詳しくは、右記のQRコード、または、下記のURLでご確認下さい。  
<https://teket.jp/7200/37391>
→

妙なる音を目指し我心なき稽古を

事前  
講座

**会場：住吉神社能楽殿** 福岡市博多区住吉3丁目1-51

2024.10.26

10:00 - 11:30

チケットをお持ちで無い方も無料で受講できますので  
お気軽にご参加ください。

参加無料 どなたでも参加できます。

今村嘉太郎  
 白坂 信行  
 相原 一彦